

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 地域福祉活動の推進	②施策番号	4408
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 地域福祉の推進		
⑥担当部名	⑦担当課名		
健康福祉部	生活福祉課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市民
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	各地区での地域福祉活動計画策定や支え合い活動への支援などにより、地域・事業者など様々な人や組織の連携のもと、認め合い支え合う地域福祉社会を目指します。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	少子・高齢化の進展、世帯構成やライフスタイルの変化などにより、助け合える近隣関係が少なくなる中、地域住民が主体となり、地域の特性に応じた地域福祉活動計画を策定及び実践し、地域で支え合う地域福祉社会を実現する。また、地域の課題やニーズを発見し、その地域福祉サービスへの利用ニーズに応えていき、地域福祉活動への住民の参加を促進し、様々な人や組織が連携して身近な地域の課題を解決する仕組みづくりを行う。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方	
①	民生委員児童委員相談・支援・活動件数	件	地域福祉の中核としては民生委員の活動である。	
	計算式			
②	計算式			
③	計算式			

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	民生委員児童委員相談・支援・活動件数	件	目標値				11,783	11,783	
			実績値	12,030	12,554	11,783	—	—	
			達成率						
②		人	目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	民生委員児童委員活動事業	民生委員児童委員相談・支援・活動件数	人	12,554	11,783	11,783	3,478	3,834	3,829	A	ア	◎
2	更生保護支援事業	社会を明るくする運動事業参加延べ人数	人	76	162	162	1,602	1,753	1,755	A	ア	○
3	地域福祉計画策定事業	策定委員会委員出席延べ人数	人	0	48	0	0	2,040	0	A	ウ	
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						5,080	7,627	5,584			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	上位施策である「地域福祉の推進」を図るため、地域共生社会の構築に特化した地域福祉計画(H29年度～R3年度)の追加版を策定し、地域住民が地域共生社会の構築の主体であることを理解できるよう、現存する更生保護活動及び民生委員児童委員活動について、広く周知啓発を行うことにより、地域住民自身が地域福祉コミュニティの形成を「我が事・丸ごと」と捉えることを促進することにつながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	会員数は、ほぼ横ばいで推移してきており、地域福祉の担い手の育成が重要である。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	地域福祉の推進については、市民と行政との協働で行うものであり、民生委員児童委員、及び更生保護司会等の団体は自主的な活動を通し行政との役割分担を十分に果たしている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	地域福祉推進のためには、住民と行政の協働が重要であり、民生委員児童委員活動を中心に事務事業が構成されており適正。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	地域福祉推進のためには、住民と行政の協働が重要であり、その中核となるのが民生委員児童委員活動である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	A	引き続き、民生委員法に基づき、適正に事務を行い、また、民生委員児童委員並びに泉南市民生委員児童委員協議会の活動を支援する。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	—
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	民生委員の担い手の減少、高齢化が進む中で民生委員の担い手の要請が必要であるが、まずは最初のステップとして民生委員の活動について広く市民の方々に周知していく必要がある。
中長期的対応 (3～5年をめぐりに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	施策指標とする民生委員児童委員の相談・支援・活動件数は一定数で推移しており、適切に取組が行われている。 地域における高齢化の進展もあり、今後とも地域福祉活動に係る団体、地域住民との連携を進め、地域福祉活動の推進を図りたい。	